

いのち輝くまちへ 健康をつくる 平和をつくる

困難に抗して創り上げてきた組合員による「大阪きづがわ医療福祉生協の事業利用大運動」を改めて重視し、職員の「医療生協人」としての成長を協同の力を発揮する源泉としていく。そして事業でも運動でも前進できる法人となろう。

大阪きづがわ医療福祉生協は、

地域住民の協同で、24時間365日の生活を支えます

健康づくりを通じて明るいまちづくりに貢献します

生きがいくつくりと支え合い(きずな)を大切にします

入場料 **無料**
(組合員/家族)

大人も子どもも楽しめます。
組合員世帯のみ対象です。
(未加入の方はこの機会にご加入ください)

第5回 通常総代会 プレ企画 人形劇団クラルテ公演

申込み受付 **5月7日(土) 9:00~17:00**

電話でお申込みください 以後の受付は平日10:00~17:00

TEL.06-4394-8500

※世帯単位で申込み受付 ①代表者名 ②人数 ③電話番号

200名に
なり次第
受付終了と
なります。

今
回
の
演
目



作品名 絵姿によぼう

お嫁さんの姿を絵に書いて畑へもっていくことにしたごんべえ。ところが風が吹いて…日本の民話を素材に、おおらかな愛をユーモアたっぷりに上演します。



作品名 トウモロコシはだれのもの

うさぎさんが、汗を流してやっと育てたトウモロコシなのに、動物達が次々にやってきて、トウモロコシをよこせと言います…コスタリカの民話を色彩豊かな人形劇にして上演します。

医療費の支払いでお困りの方、一度ご相談ください

大阪きづがわ医療福祉生協の診療所・歯科では医療費の減免、免除ができます ▶詳しくはP7へ

ma² CHOCO
ママ・ちょこ⑤

今回は… 港区の八幡屋公園 を紹介します。

港区随一の大きさを誇る八幡屋公園。緑がいっぱいで広い芝生広場もあり、子どもが盛大にこけても大丈夫(のはず)。大型遊具(3月10日現在改修中)や丘から望む景色も八幡屋公園の名物です!

春ですね!あたたかくなってお外遊びが楽しくなる季節となりました。お外遊びに限った話ではありませんが、こどもと接するなかで難しいのが、遊びをどう盛り上げるかです。「もうおしまいね」と、すぐの提示ではこどもたちは納得しません。そこで一つのアイデアですが…終わりを提案することです。数かよめるお子さんには「時計の数字が〇〇になったらおしまいだよ」と提案します。他には「時計の長い針が10になったらおしまいね」などです。あとは、このおもちゃをいっしょに片付けしておしまいね。とか、少しでもこどもたちがイメージしやすい言葉をかけてあげると納得してくれたりします。いっしょにお風呂に入ったときにも使えます。大人でも「おしまい」は難しいもの。大人に余裕が必要ですが…。

編集部
だより

この写真は昨年、長女(小1)が肺炎で住吉市民病院に入院した時のものです。クリスマス前に咳がひどくなり、西成民主診療所で受診したら、入院したほうがいいと言われ、住吉市民病院を紹介して頂きました。入院したのは1週間、大晦日に退院しました。子どもが入院というのは初めてで、戸惑いもありましたが、病院のスタッフが親切に教えてくれて、何事もなく入院生活を過ごしました。今となれば病院に泊まって、仕事場へ行ったのもいい思い出です。そんな住吉市民病院が、廃止再編されようとしています。何とか、地域のために、今のまま残して頂きたいです。



小児科病棟で

050
今月の
いちまい

理事会報告

第10回 理事会
日時 2016年3月19日[土] 午後3時~5時30分
場所 本部会議室
出席 理事 26名/31名中 監事 3名/3名中

拡大常務理事会協議事項報告
①職員確保に向けて
「2020ビジョンの実現・2025年を見据えた法人運営を考えたとき、根幹を左右する課題と認識」
②職員育成に向けて 新たに確立すべき研修を検討する

- 協議承認事項
- 1号議案 2月度の事業活動報告の件
 - ①2月度の事業収支結果
 - ②2015年度の組織運営の到達(全国四課題)
 - ③自立できる職場づくりの取り組み
 - ④署名活動への取り組みの強化のために
 - ⑤理事会合宿での2020ビジョンとその具体化に向けて
 - 2号議案 大正「ゆめプラン」に関する件
 - 3号議案 大阪府の検査を受けての改善指示事項
 - 4号議案 春闘要求書への回答について
 - 5号議案 第五回 通常総代会の件

- 各報告承認事項
- ①事業に関する報告
 - ②組織及び運営に関する活動
 - ③就業規則関連
 - ④社会保障・原発・震災支援の取り組み
 - ⑤その他
 - ⑥今後の日程
 - 常務理事会 4月13日[水]
 - 理事会 4月16日[土]

市民のための公共交通施策を

● 必要だから考える、大阪市民の公共交通

「衣食住」は暮らしにとって欠かせない物ですが、今の生活にとって移動は必要条件になっています。

昔は買い物をするにも近所に商店があり、生活圏も歩いて済んでしまう範囲でした。今はスーパーに買い物や、生活には移動(交通手段を使う)無くして暮らしてはいけません。

交通手段は色々ありますが、公共交通(鉄道、バスなど)は、よく赤字だからと言われて、廃止や減便されています。多くの人は「そうか、ガマンをしようか」となっているのではありませんか。

先進工業国で、公共交通の採算性を問うのは日本だけです。

赤字だからと利用者はガマンを強い

られる。私事ですが、大正に来るためのバスが現在、一時間に一本になり、朝の通勤に利用出来なくなりました。

オリンピック開催地のブラジル・リオでは、65歳以上はバスは無料だと、先日旅行した人から聞きました。

決して豊かな国とは聞いていませんが、日本・大阪とはえらい違いだと感じました。地下鉄とバスは大阪市交通局なのです。どうして一体化して運営しないのでしょうか。

高齢化社会の今、基本的に玄関から玄関へを大きな柱にして公共交通問題を皆で考え、大阪市民の交通施策を作る必要があります。

理事長 別所義正

赤字ならガマンするしかない？

I. 組合員による大阪きづがわ医療福祉生協の『事業利用大運動』の具体化で、支部・事業所活動を大きく飛躍させよう!

II. なかま(組合員)ふやし、くらしの担い手がしに挑戦する

- (1) 支部・職場ごとの年間目標を設定し、総達成をめざす。法人全体の目標は、
- i) 1,200名の組合員増やしにチャレンジする、(2015年度1,148名)

大正エリア:400名
(2015年度362名)

港エリア:400名
(2015年度389名)

西成エリア:400名
(2015年度397名)

III. 平和と憲法を守り、社会保障の充実を求める

IV. 医師・看護師等の職員確保と育成を強化する

V. 『医・福・食・住』の事業計画を大阪きづがわ医療福祉生協地域包括ケアづくりとして策定する。(2020ビジョン・5年間)

- (1) 大阪きづがわ医療福祉生協がめざす『地域包括ケア』事業の具体化に挑戦する
- i) 各区での事業計画をすすめる

● 大正区での事業計画

- 千島の地域に全事業所を配置し、医科・歯科・介護の一体連携で住みなれた地域で健康ですみ続け、『最後まで地域で暮らす』の願いに応える事業を確立する
- 旧大正民主診療所を新診療所への送迎拠点と健康づくり地域交流の拠点とする。健康づくりフィットネス、ふれあいモーニング、サークル活動など地域に役立つ生協事業をすすめる

● 港区での事業計画

- グループホーム移転用の土地確保を行い、地域包括ケアをすすめる上での新たな事業課題を決定していく。そのためのプロジェクトを発足させていく

● 浪速区での事業計画

- 生協本部の会館1階に『地域交流センター なにわ・晴ればれ』を整備し、総合事業の受け皿づくりも目指す。本部会館として学習・研修の拠点として活用する

● 西成区での事業計画

- 2016年度は、新規の事業計画策定をめざす

ii) 法人全体ですすめる事業

- ◎ 健康づくりを通してまちづくりに貢献する
- ◎ 認知症予防・認知症ケア
- ◎ 地域包括ケア事業をすすめる推進



(2) 大阪きづがわ医療福祉生協の医療・介護の充実と『いのちの章典』の実践

- ◎ 選ばれる医療・介護活動をめざし、提供される事業の内容充実に取り組む
- ◎ 医療と介護を一体的に提供できる『大阪きづがわ医療福祉生協の事業の強み』を活かし、在宅支援機能を強化し、中重度の対応と在宅での看取りなど最後まで暮らし続けたいとの願いに対応する
- ◎ 生活支援の強化を図るリハビリ機能を強化する

(3) まちづくり

- ◎ つながりマップ作りをすすめる
- ◎ 震災支援を継続、災害に強いまちづくりをすすめる
- ◎ 子どもを含めた居場所作り

Profile がもう 健

- 1935年 大阪市住吉区生まれ
- 大阪府議会議員四期(西成区選出)
- 郷土史家
- 大阪きづがわ医療福祉生協前理事長
- 著書『今昔木津川物語』『今昔西成百景』など

鈴虫の寺は「下町ロケット」後編

次郎と友子の「びっくり史跡巡り」第3回 日記

「友ちゃんそこんや。世界三大宗教であるキリスト教とイスラム教は、うちこそ本家と争っている。しかし仏教は、人間に命令する神の観点はない。あくまで視点は自分の内部にある悟

「外国のお客さんも爆買いだけでなく、寺社巡りもせっせとやってくれている。日本の文化にも関心があると思う」

「ところが、私も京都と奈良のお寺だけでもここ数年間で数百カ所はお参りしている。しかし実際に私達に説法してくれたのは奈良の薬師寺とここだけ。後は単なる観光客扱い」

「楽しんで元氣の出る話なら半時間位でも聞きたいわ」

「楽しくて元氣の出る話なら半時間位でも聞きたいわ」

「私の兄は敗戦のとき少年工として大阪の軍需工場にいた。八月十四日、最後の空襲で一トン爆弾の猛爆を受け多くの犠牲者が出た。その時陸軍の最高幹部らだけ厚さ二メートルのコンクリートで固めて造った防空壕に入ったが全員圧死。兄はその時のことを永久に忘れないと、ことあるごとに人に話している。今こそ戦争の無益さを訴えなければ」

「次郎と友子は戦中派最後の世代として、史跡巡りにも反戦の意識がにじみ出

「次郎ちゃん今日は格調高いね」

「次郎ちゃん今日は格調高いね」



西成区 ●

舞洲ごみ処理場見学ツアー

天下茶屋・聖天下支部の恒例の異文化交流、今回は3月30日(水)に舞洲ごみ処理場見学ツアーで23日にプレ企画のごみ問題の学習会を経ての見学でした。参加者は15名、コスモスクエアからバスに乗り、ちょっとした小旅行気分でした。外観は奇抜で遊園地と間違ふほどのデザインで柔らかな曲線が印象的な建物です。近辺緑化も合わせてのデザインらしく



ごみ処理場見学は勉強になりましたよ!

ごみ分別処理の心がけが大切!

職員の方から説明を受ける組合員さん



建築後15年が経過し、緑が豊富です。ごみ処理場は大規模で、1000度以上の高温で焼却するのでダイオキシンなどの有害物質や異臭も出ない処理施設ということでした。ごみ処理には莫大な費用がかかりますが、現代生活では、ごみの発生は避けてとおれません。分別をきっちりしてリサイクルできるような心がけが大切だという事を再認識したツアーでした。

天下茶屋・聖天下支部担当理事
青野 晴美



50人を超える参加者



円形水槽の外枠

新施設への期待高まる内覧会

大正区 ●

「たいしょう生協診療所」の内覧会開催

3月31日(木)午後1時半から、新施設「たいしょう生協診療所」の内覧会が開かれ、50人を越える組合員さん、職員が一階のフロアを見学しました。床部分が完成しており、平井事務長から診療所一階のレイアウトの説明を受け、改めて素晴らしい施設のイメージを膨らませました。ここには、CT、診察室、地下にも保管庫が出来るとか、現在、天井には配線が数多く張り巡っていますが、完成予想を頭に描きながら、皆さん質問をされていました。今後、天井が出来あがり、各部屋の壁などを施工しますので、工事中を見学するのは最初で最後になります。入り口には外壁のタイル見本が置かれていて、外観もイメージする事ができました。大きく感心が持たれたのは入り口にあった円形の型枠です。水槽の外枠で、出来上がると海遊館の生協診療所版が皆様の目を癒してくれることでしょう。

浪速区 ●

地域交流センター なにわ・晴ればれの看板設置!

このほど、浪速区の大阪きづがわ医療福祉生協本部の一階に「生協会館・地域交流センターなにわ・晴ればれ」の看板が設置されました。ここでは、モーニング班会やカラオケ班会・健康体操・お食事会を開催して組合員さんが楽しいひと時を過ごしています。さらに地域のたまり場としての地域交流センターづくりをめざし、組合員さん宅にお



「こんにちは」と訪問する組合員さん

看板設置に気分も晴ればれ!

「なにわ・晴ればれ」看板の下でにっこり



伺いし、ご要望もお聞きしています。4月6日の訪問では体操・ウォーキングのご要望があり、新たに、お一人ご加入されました。ぜひ、みなさんもご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。また、地域交流センターづくりのための出資・増資のご協力もよろしくお願い致します。

港区 ●

「緊急通報システム事業」学習会と「認知症よりあい所」開催

3月26日(土)みなと生協診療所にて、大阪市の事業である「緊急通報システム事業」の学習会を社保委員会主催で開催しました。講師は、同事業の委託先である日本パナユーズの北田さん。デモの機械を用意してもらい「こんな音です」「こんな応答です」と丁寧な説明で参加されているみなさんもこれなら利用しやすい!と納得の感想をいただきました。開催するきっかけが、昨年末の急な冷え込みによる体調不良で独居の高齢者の方がお部屋で倒れていて、なんとか事前に手だてはないかという組合員さんの声からでした。

学習会のあとは、みなと生協診療所主



「緊急通報システム事業」学習会

認知症について交流しました



手遅れを防ぐ、緊急通報システム

催で「認知症よりあい所」として認知症についての交流を行い、港区の介護家族会「かもめ会」から認知症介護を経験された方のお話をうかがいました。ご自身の経験のお話はとても新鮮で、貴重なお話に涙された参加者もいました。認知症予防への取り組みとして職員の潮田理学療法士からは「あっ」とする体験が大切なんですよ!というスライドを使ったお話もありました。まだまだ交流したい!こんなことも知りたい、みんなで考えたいという想いがあった交流会でした。

シリーズ
医福食住
みらいの窓
これが医療福祉生協の魅力

1日体験も
できますよ!

「グループホームしおかぜ」

港区八幡屋にある「グループホームしおかぜ」に取材に行きました。玄関に入ると、右手にダイニングキッチン、左手にソファとテレビのある居間、正面は個室が6部屋、浴室、トイレ、洗面所とごくごく普通の家でした。そうです、ここは6人の認知症の方と職員が暮らす「家」です。



管理者の萩原光代さん（写真左）

入居できるのは要支援2から要介護5の方です。「グループホームしおかぜ」について、管理者の萩原光代さんが丁寧に説明してくださりました。



どんな一日を過ごされるのかとお聞きすると、朝食7時の

「グループホームしおかぜ」のさらなる魅力は、同じ法人の

みなと生協診療所の医師の往診と看護師の訪問看護があり、医療としっかり連携しているところ、とても安心です。また、理学療法士・言語聴覚士の連携もあり、介助の仕方・入居者様の食事の姿勢や食事携帯・口腔ケアなど専門的にアドバイスがあることも強みです。



さらに、その人らしく生活することのサポートもしています。Aさんは、「グループホームしおかぜ」に入居後、体調不良により入院されました。入院中は一日中、点滴（I・V H）を受け、ベッドの上で天井だけをみつ

める生活をしていました。入院先の医師からは、退院後はグループホームでは医療ニーズが高く無理なので、療養型医療施設への転院を勧められました。しかし、ご家族様の「連れて帰りたい！」という強い希望と、みなと生協診療所の医師の「帰っておいで」の言葉をきっかけに関係者・家族と何度も話し合い、「グループホームしおかぜ」に帰ることができました。入院中は一日中、行っていた点滴も、「グループホームしおかぜ」では夕方から夜間の点滴にしました。そうしたと、Aさんは散歩にも出かけるようになる、みなさまとの関わりもできるようになり、生活の視野が広がりました。

グループホームしおかぜ
〒552-0014
大阪市港区八幡屋3-5-1
FAX 06(4395)3310

一日体験もできます。
ただいま、
空き室があります。

入居ご希望の方は… **TEL.06-4395-3311**

おたよりコーナー

■もうすぐ春。孫が入園、入学とうれしく楽しみにです。早いものです。大きくなるのはあつと（ま）
大正区・あいちちゃんさん

■今回の「まちがいさがし」はむづかしくて、最後のひとつをなかなか見つけることが出来ませんでした。見つけた時は大感激！人工知能と勝負したら、どちらが先に見つけることができるかと思うひと時でした。
西成区・森崎 正明さん

■手話も言語、という認識を持って貰うために昨年十二月に市議会でも「手話言語法」の条例化が可決されました。今後は手話も社会の中で当たり前という言葉として普及して行く事でしょう。期待しています。
大正区・ろうあ老人さん

■いつもありがとうございます。今日は孫娘が学校帰りに寄り、明日は三年生の卒業式や「私も手伝いに行くねん」と。束の間だったけれど、まちがいさがしをして「又来るね」帰宅、感謝、合掌。
大正区・三田村 空美さん

■今年も、大正千鳥公園通りに白いこぶしの花が咲き始めた。19年前のある日、突然子ども（当時20歳）を見送ったあの日と同じ風景に、白いこぶしの花を見るたび、当時の事を昨日の様に思い出す。
大正区・チャミーグリーンさん

■東日本大震災被災地の現地の写真をみて被害のひどさを実感しました。女の子の写真が可愛いです。桜の花見に夫と2人で行くのが楽しみです。
西成区・北 裕子さん

■毎回楽しく拝読しておりますが、眼が思う様に見えなくて虫メガネを使用する次第です。時間をかけて休みつつ楽しく挑戦します。やっと7個見つけました。やった!!
西成区・岡田 修さん

■初めて拝読致しました。今後楽しみにしております。
西成区・森川 美智子さん

■今年も年一回の特定検診を受けます。コレステロールの数値が気になりますが…(基準値まあと少し)
港区・ママリんさん

■「戦争法廃止・2000万人統一署名」の用紙を頂き、早速家族から署名を始めました。思うに一人一人の思い・意識こそが大切。それが大きく変革の波を起こすのです。60年前のビキニ被災、東京杉並の一主婦の方から始まった「原水爆実験禁止」の署名運動が瞬く間に国内は勿論国外にも広がり、大きな力になったことを思い出します。
港区・正木 ツヤさん

■毎月楽しみにしている、まちがいさがしが紙面から消えるという事をうわさでチラッと耳にしましたが、ぜひ続行する様に願います。
港区・板東 忠則さん

■新連載の「次郎と友子の「びっくり史跡巡り」日記」大変気に入りました!!「ぶちぬきの1ペー」ジ、この連載にかけの意気込みを感じました。次回も楽しみにしています。
浪速区・内川 洋子さん

■今回は早々に私が全部見つけました。(夫とせーので探しています)春になると何か新しいことをスタートさせたいと思います。今年はいアノと手芸を頑張ってみようかなあ。
港区・中野 雅さん

■東北の震災から五年の月日が流れました。五年前に購入した食品類(五年間の賞味期限がある)の入れかえ作業を行いました。五年前の映像をみると、ふるえが起こります。大阪でも地震などの災害が起こらないことを祈ります。
港区・匿名さん

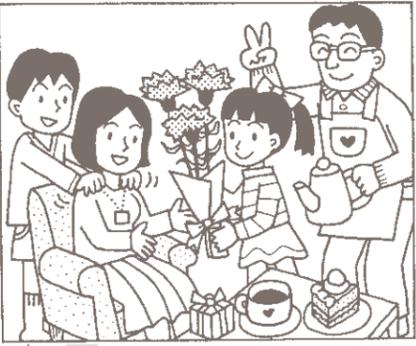
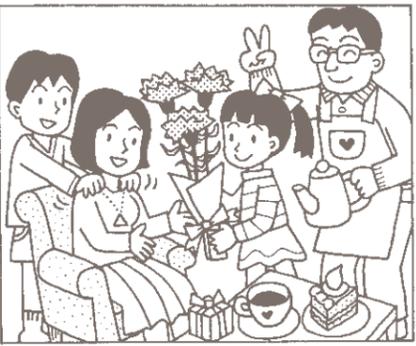
■最近のまちがいさがし、むずかしく頑張つてさがした時はうれしいですね、毎日が楽しみです。
港区・川野 千賀子さん

■一月に生協に入って初めて応募しました。当たりますように。
港区・塩月 ミキエさん

どしどし
ご応募
お待ちしております

どこ?どこ? まちがいさがし

下の絵は上と7ヶ所のまちがいがあります。どこでしょう?



正解者の中から抽選で15名の方に図書カード(500円)を進呈します。

【応募方法】
解答はイラストを切り取って、ハガキに貼ってお送りください。
*なおハガキの余白に解答と合わせて今号の感想やご意見、近況などもお書き添え下さい。

3月号の応募総数62名で
55名が正解でした。



3月号の当選者 15名
図書カード当選者は発送をもって発表に替えさせていただきます。
抽選は毎月第一金曜日に行っています。
見学されたい方は、ご一報の上、お越しください。

医療費の支払いでお困りの方へ

- 下記にて医療費の減額、免除ができます
- 無料低額診療事業 実施診療所
 - ・みなと生協診療所
 - ・大正民主診療所
 - ・ながほり通り診療所
 - ・わかば歯科
 - ・西成民主診療所

必要な診療・治療を受けていただくことが何よりも大切です。「お金がないから」と心配な時はまずご相談ください。治療後の生活再建も一緒に考えましょう。

応募先 〒556-0024 塩草2-2-31-3F (郵便番号は正確に) 5月31日 必着
大阪きづがわ生協「みらい」係